

世界が注目するイノベーション都市 ～ベンガルール概況～

日本貿易振興機構（ジェトロ）

ベンガルール事務所

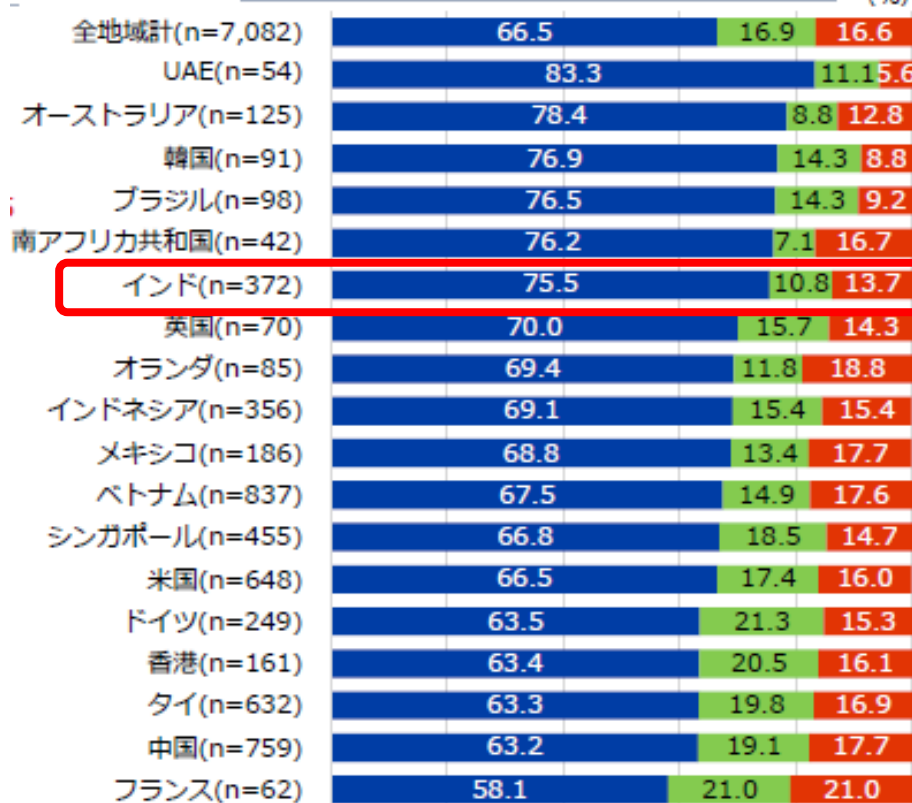
2026年9月



黒字の在インド日系企業は7割

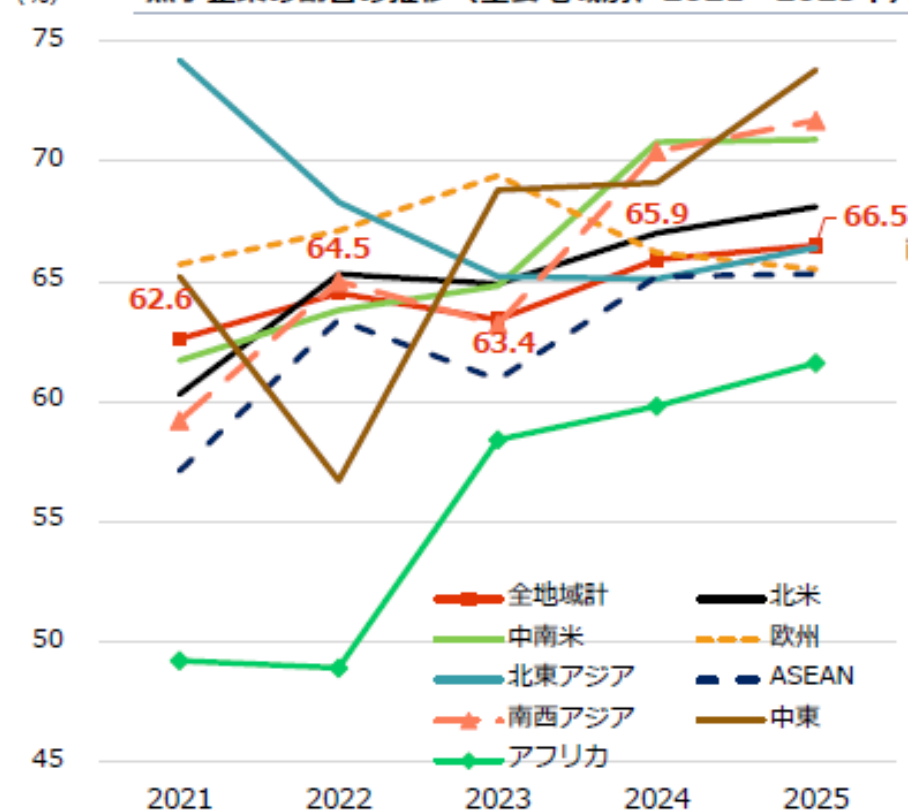
- 2025年の営業利益見込みを「黒字」とした在インド日系企業の割合は**75.5%**
- 過去からの推移をみると、徐々に増加傾向

主要国・地域の2025年の営業利益見込み (%)



■ 黒字 ■ 均衡 ■ 赤字

黒字企業の割合の推移 (主要地域別、2021~2025年)



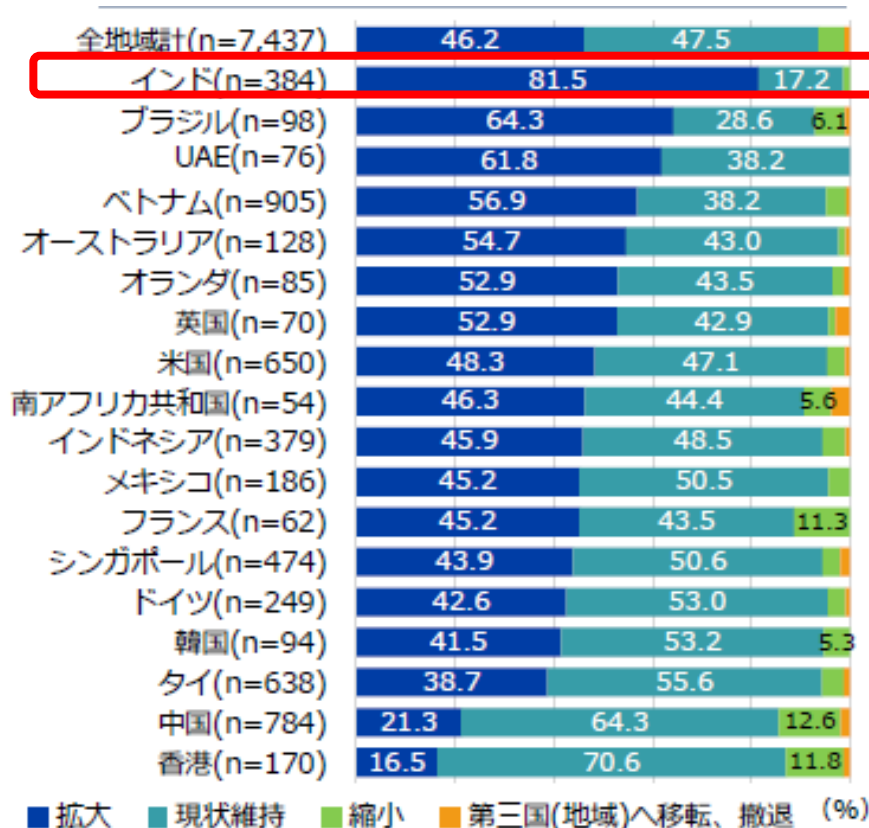
(注) 全地域計にはロシア、オセアニアを含む。

出所：2025年度海外進出日系企業実態調査（全世界編／アジア・オセアニア編）

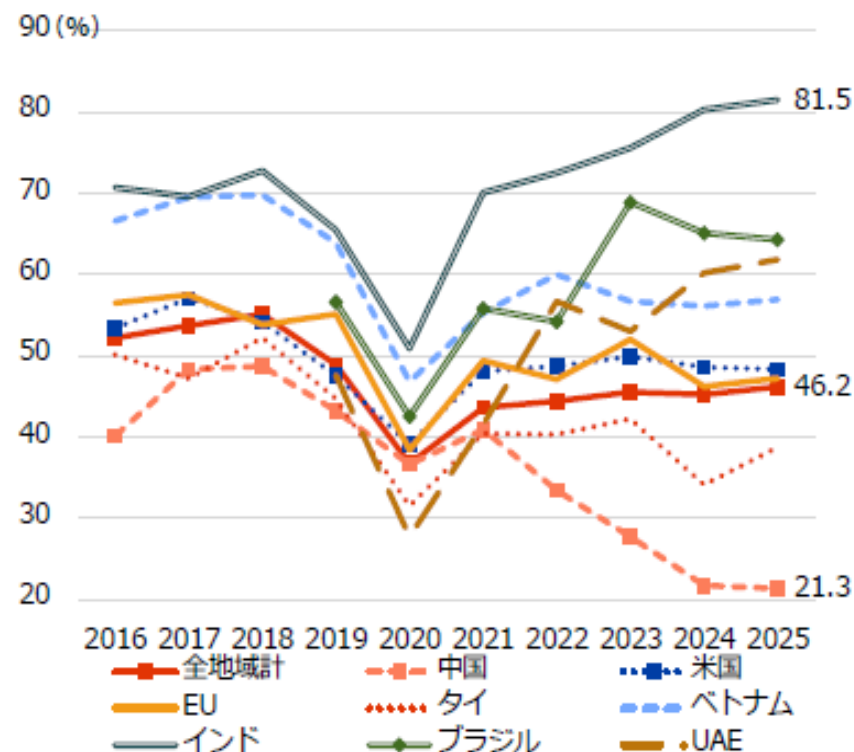
在インド日系企業は今後8割が事業拡大へ

- 今後1～2年の事業展開の方向性について「拡大」と回答した在インド日系企業の割合は**81.5%**
- 全世界主要国の中で**トップ**

今後1～2年の事業展開の方向性（主要国・地域別）



「拡大」の割合の推移（主要国・地域別、2016～2025年）



(注) ①全地域計にはオセアニア、ロシアを含む。
②ブラジルとUAEは制約上2019年からのデータ。

カルナータカ州 基本情報

- 他のインド都市には存在しない、**快適な気候**、**自由な飲食文化**が魅力
※市内には日本食レストランが35件、ステーキハウスもあり
- インドの「コスモポリタン都市」



(出所) 外務省

人口	約6,783万人（インド全体第9位）←イギリスと同じ規模
州都	ベンガルール市（人口約1,200万人）
面積	191,791 Km ² （インド全体第7位）
言語	カンナダ語（州公用語）英語（準公用語）ヒンディー語（連邦公用語）
民族	ドラヴィダ系
識字率	75.36%（男性82.5%、女性68.1%）
宗教	ヒンドウ（84%）イスラム（12.9%） キリスト（1.87%）ジャイナ（0.72%）
気候	高原都市のため、穏やかで涼しく過ごしやすい（20℃～35℃）
予算	約3兆7,138億ルピー（445億ドル） ※24-25年度
GDP	約25兆100億ルピー（約2,998億ドル）← インド全体の約8.4% 1人当たりGDP 368,085ルピー（約4,424ドル） 1人当たり所得 332,926ルピー（約4,000ドル）

(出所) Karnataka Economic Survey 2023-24

Population Projections for INDIA and States 2011-2036 Population Census 4

カルナータカ州の経済

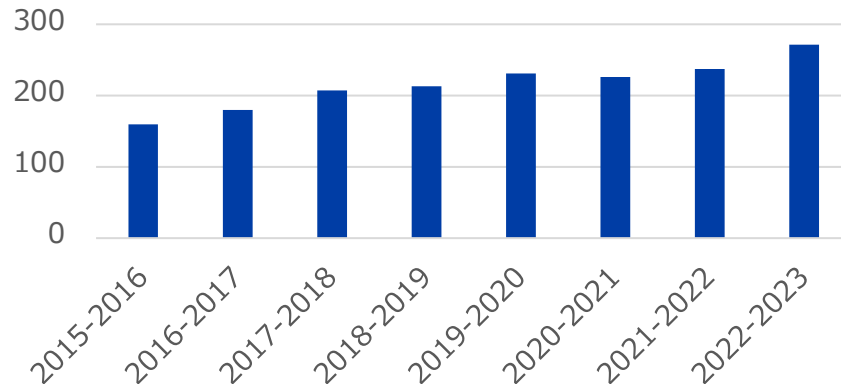
- カルナータカ州のGDPはコロナ禍を経て、**成長傾向**
- 州別名目GDPはインド全体で**第3位**につける、インド全体GDPの**約8.4%**に相当
- インド全体の約5.75%にあたる工場が集積

＜州別名目GDPのトップ5＞

1. マハラシュトラ州	\$374 Bn
2. タミルナードゥ州	\$248 Bn
3. カルナータカ州	\$236 Bn
4. グジャラート州	\$235 Bn
5. ウッタル・プラデーシュ州	\$230 Bn

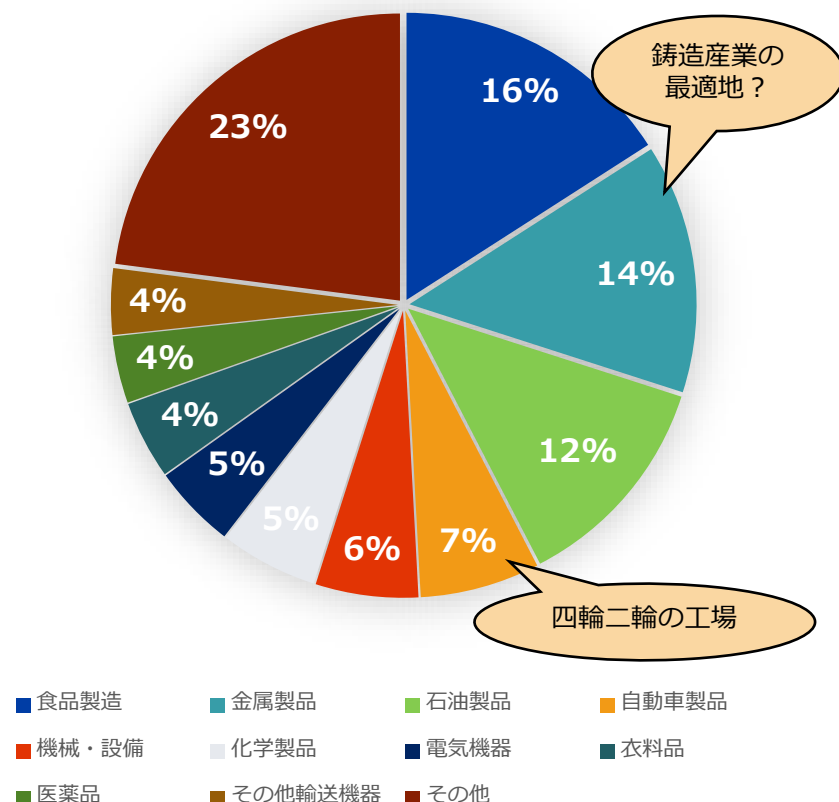
出所：Open Government Data(OGD) Platform Indiaよりジェトロ作成

単位：US\$ bn カルナータカ州の名目GDP



出所：INDIA BRAND EQUITY FOUNDATIONよりジェトロ作成

カルナータカ州の製造業の産業構成



出所：Economic Survey of Karnataka 2022-23よりジェトロ作成

製造業は「付加価値が高い分野」

- ベンガルールは立地と交通の便の良さから貿易都市として誕生
- 独立後は**軍需産業**、国営企業を中心地として発展→研究拠点多数+確かな製造力を持つメーカー
- 現在は**航空宇宙**関連企業、**工作機械**メーカーが集積

<航空宇宙・国防関連>

- **航空宇宙**分野は**インドシェア約25%**

- 主な関連企業

HAL (Hindustan Aeronautics Ltd. 航空機製造)

ISRO (Indian Space Research Organization, 宇宙開発・人工衛星)

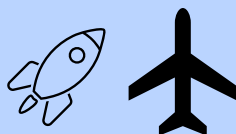
BEL (Bharat Electronics Ltd., 電子機器)

ITI (Indian Telephone Industries, 通信機器)

BHEL (Bharat Heavy Electricals Ltd. 重電機)

エアバス 設計・エンジニアリング拠点

ボーイング 研究開発拠点



<研究拠点>

- 軍需産業関連の研究所あり

インド科学研究所、ラマン研究所、国立航空研究所、
国立電力研究所、インド宇宙研究機関



<工作機械>

- 全世界の工作機械メーカー**60%**が拠点設立
(インド主要メーカー、日本、アメリカ、ドイツの外資も)

BEML (Bharat Earth Movers Ltd., 建設・土木機械)

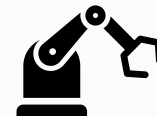
HMT (Hindustan Machine Tools Ltd., 工作機械)

ACE Manufacturing Systems Ltd. (インド)

TRUMPF (ドイツ)

マキノ・インディア (日本)

ファナック・インディア (日本) etc...



- インドの**工作機械製造協会 (IMTMA)**
電子半導体協会 (IESA)の本部はベンガルール

<参考：アパレル>

- 国内衣料品生産シェア約20%、国内生糸65%を生産
- 縫製工場3,000工場超 テキスタイル2,000工場超
州全域に繊維工業団地あり
→インド最多の集積地とも

出所：カルナータカ州政府、Invest India、Invest Karnatakaホームページよりジェトロ作成
<https://blrsmartcity.karnataka.gov.in/page/Explore+Bengaluru/Economy/en>
<https://investkarnataka.co.in/sectors/textile-and-apparel/>
<https://karnatakadht.org/english/policies.php>

インドの日系企業分布

- インド進出日系企業数は**1,434社** そのうちカルナータカ州は**234社**
- 工業団地や物流拠点があるため、日系企業は主要都市近郊に分布している
- 進出数はコロナ禍以降順調に**増加**

デリー準州 (144社)

日立、ソニー、ヤクルト、パソナなど。

ハリヤナ州 (394社)

スズキ(四輪・二輪)、ホンダ(二輪)など。

ラジャスタン州 (51社)

ホンダ(二輪・四輪)、
ダイキン、ユニ・チャーム、豊田合成など。

ウッタル・プラデシュ州 (47社)

ヤマハ、デンソーなど。

グジャラート州 (40社)

スズキ、ホンダ(二輪)、
大塚製薬、TOTO、三菱重工、日本製鉄など。

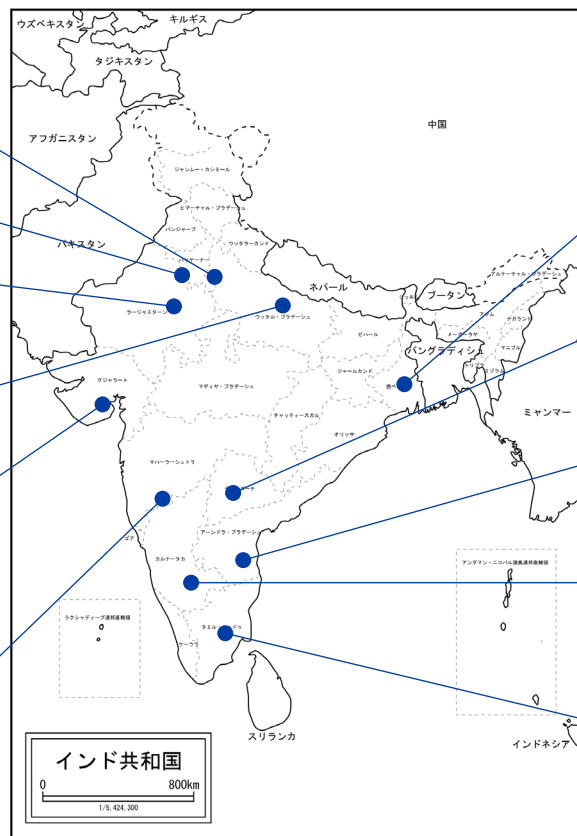
マハーラーシュトラ州 (248社)

(ムンバイ)

良品計画、旭化成など。

(プネ)

三菱電機、山崎マザック、
オリエンタル酵母など。



西ベンガル州 (23社)

日立建機、野村総研、エア・ウォーターなど。

テランガナ州 (29社)

東芝、不二製油、巴川製紙所など。

アンドラ・プラデシュ州 (18社)

エーザイ、いすゞ、コベルコ、ユニ・チャーム、
東レなど。

カルナータカ州 (234社)

トヨタ、ホンダ(二輪)、ファナック、TMEIC、
富士通、ブラザー、三菱電機など。

タミル・ナドゥ州 (182社)

日産、ヤマハ、東芝、コマツ、パナソニックなど。

(出所) 在インド日本国大使館・ジェトロ「インド進出日系企業リスト」(2024年版)、
インド外務省ウェブサイトを基にジェトロ作成

カルナータカ州の日系進出動向

- 進出日系企業の産業分野としては、製造業では**自動車（二輪・四輪）**、**産業機器分野**が中心
- 最近では、イノベーション事業開発、デジタル分野の研究開発も増加

＜カルナータカ州 日系企業進出状況＞

- ・日系企業数：**543拠点（前年比+15）**、**234社（前年比+11）**（2024年10月時点）
インド全体：5,205拠点、1,434社
- ・在留邦人：**1,199人**（2024年10月、公館別在留届出ベース）
インド全体：8,102人（2024年10月）
※デリー5,810人（2018年）、ムンバイ756人（2024年10月）、チェンナイ737人（2024年9月）

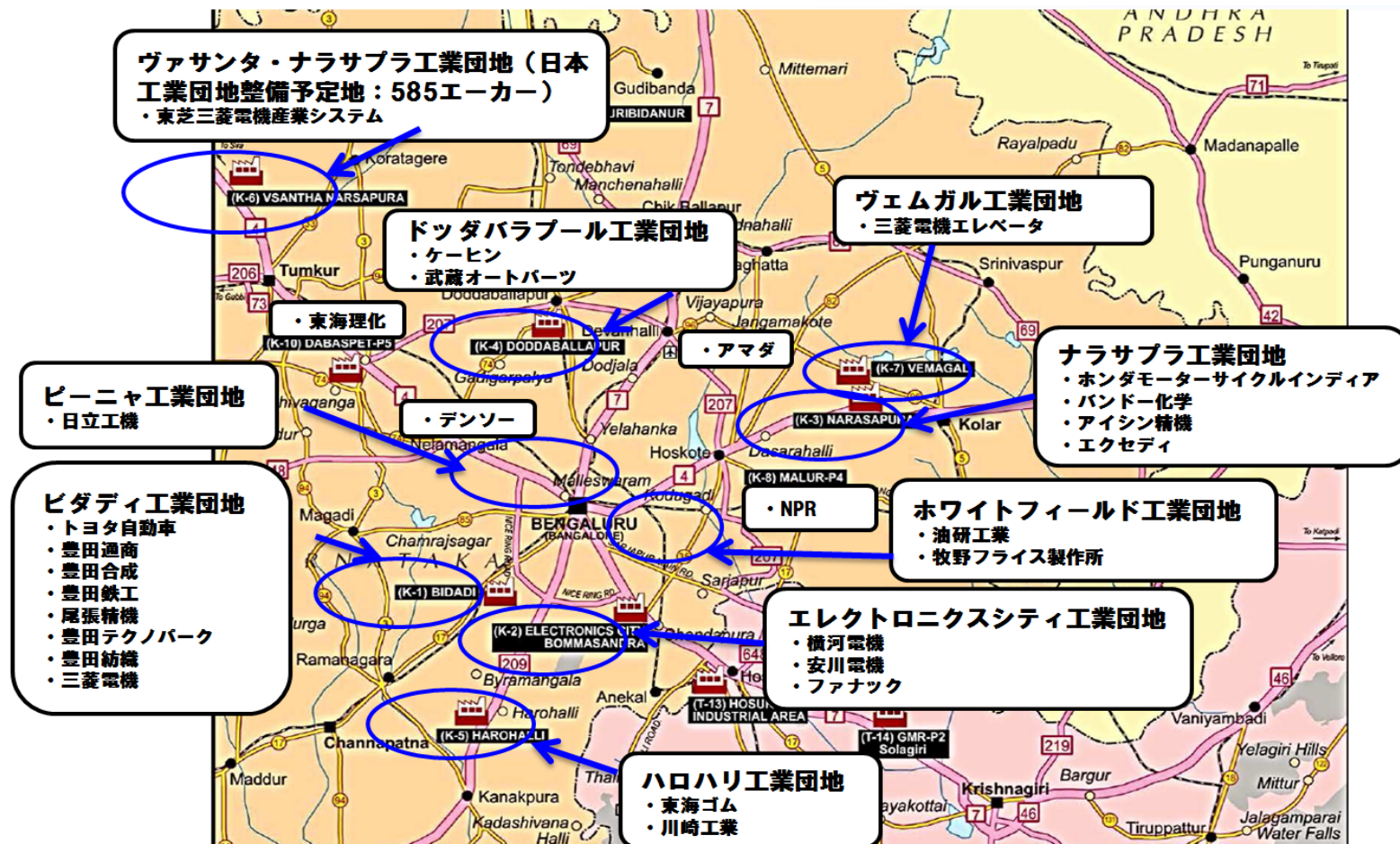
＜カルナータカ州日系企業進出推移＞

	Oct.	Oct.	Oct.	Oct.	Oct.	Oct.	Oct.	Oct.	Oct.	Oct.	Oct.	Oct.	Oct.
	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024
日系企業の拠点数	228	297	387	451	476	509	529	534	519	512	537	528	543
全インド拠点数	1,804	2,503	3,881	4,417)	4,590	4,838	5,102	5,022	4,948	4,790	4,901	4,957	5,205
邦人数	833	1,072	1,154	1,229	1,334	1,306	1,300	1,282	-	-	1,059	-	1,199

インド進出日系企業リスト 2023年7月 在インド日本国大使館、ジェトロ
海外在留邦人数調査統計 令和5年版、令和3年版（外務省）

ベンガルール周辺の日系工場

- 事務所や支店はベンガルール市内に点在
- 工場は州政府開発公社が管理運営する**郊外の工業団地**に進出(ベンガルール中心から最長約80km圏内)



会社名: 順不同

ベンガルールはインドの「シリコンバレー」

- ベンガルールは世界有数の企業のグローバル戦略拠点や研究開発拠点が立地
- 世界で有数の**イノベーションハブ**として成長を遂げている

<背景>

1980年代から米国のIT大手企業のオフショア拠点として発展→リーマンショック後は**世界のイノベーションハブ**に
ベンガルールは航空宇宙産業を中心に発展したため先端技術に強く、**バイオ産業も集積**

<規模>

- ・ IT企業は市内に**約67,000社**、IT産業規模は**1000億ドル**とも
- ・ インドのIT輸出**42%**をカルナータカ州（ベンガルール含む）が占める、
- ・ **Fortune500選出企業の26%**が拠点を置く

<特徴>

- ・ 指定されたIT・ソフトウェア企業は税制優遇あり
- ・ **ディープテックSUの約25-30%**がベンガルールに集中（AI、ブロックチェーン等）
- ・ **航空宇宙・バイオテクノロジー**に特化した経済特区あり

→インド宇宙研究機関(ISRO)本部あり

→バイオ系企業の集積地：500以上の工場（インド全体の約60%）

出所：hirst.tech記事より抜粋
Invest Karnatakaホームページより抜粋

Infosysキャンパス



国内最高峰の総合研究大学IISc



イノベーション拠点・R&D人材が豊富な国

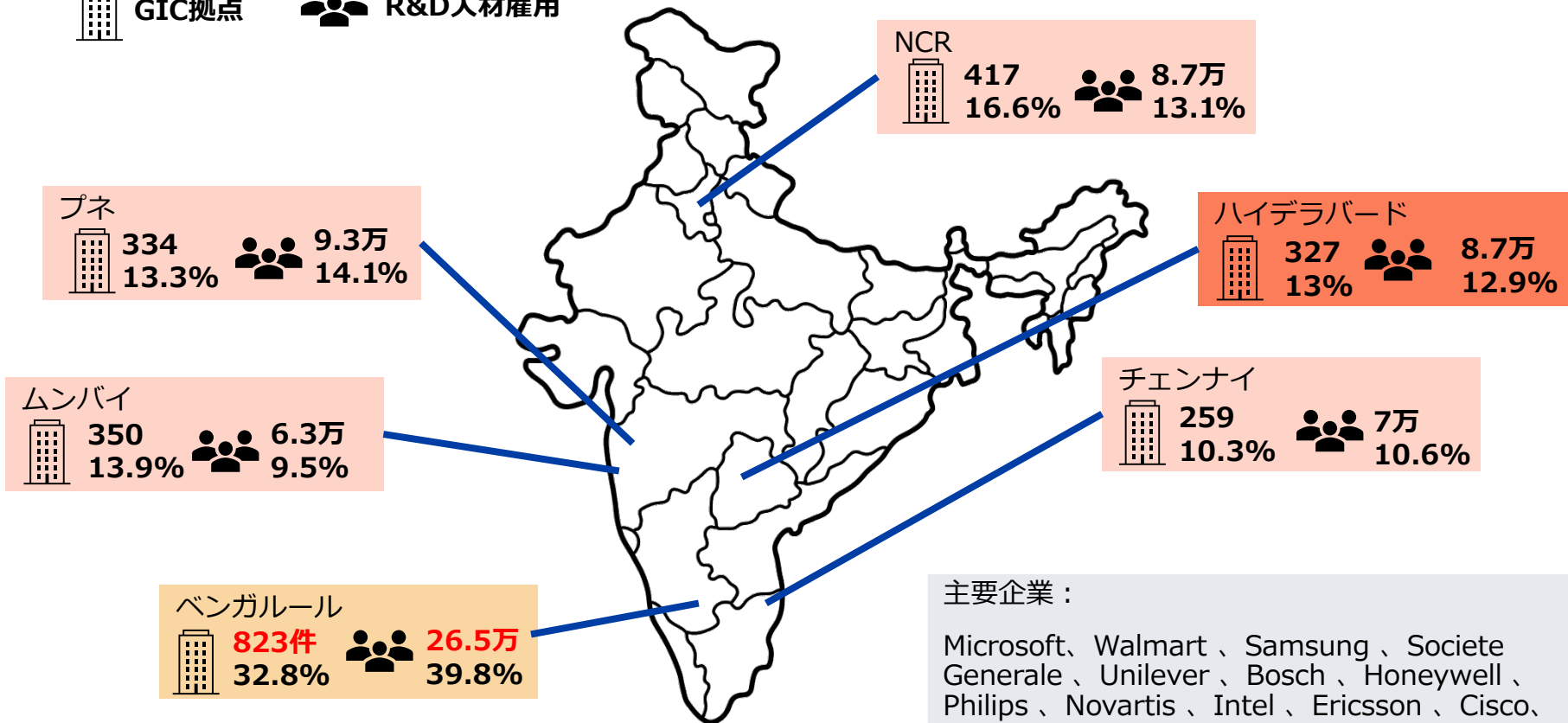
- グローバル・ケーパビリティ・センター（GCC）拠点1,580以上、研究開発（R&D）人材166万
→都市別に見ると、いずれもベンガルールが**第1位**



GIC拠点



R&D人材雇用



主要企業：

Microsoft、Walmart、Samsung、Societe Generale、Unilever、Bosch、Honeywell、Philips、Novartis、Intel、Ericsson、Cisco、Oracle、Schneider、Shell、Texas Instruments

出所：Zinnov資料よりジェトロ作成